

近日中に、トランプ大統領とホワイト米軍が決起します。

決起の具体的な事やデクラス(情報開示)の具体的なことは、明らかではありませんが、今回は、緊急放送やデクラスについての様々な情報を選別した上で、私が想像していることをまとめてみたいと思います。

ホワイト米軍は、決起の直前に、マスメディアに、「デクラスの詳細をフェイク報道せずに報道しなければ、すでに発令されている法令に従って放送免許を取り消す」、ことを通知します。

何らかの「明確な出来事」をきっかけとして、全米のメディアや、全米の全ての個人の携帯電話に緊急放送が強制的に流されます。(大災害の緊急放送と同様の設備やシステムを使用します。)

この緊急放送は世界の主要国のメディアでも流され、全世界に知れ渡ります。

「明確な出来事」として考えられるのは、2020年の大統領選挙で、トランプ大統領が勝利していたという明確な事実が公になった時か、バイデン大統領(今のバイデンは替え玉)の重大なスキャンダルが公になった時(プーチン大統領が暴露する可能性もあります)などではないかと思っています。

緊急放送の直後から、ホワイト米軍が表舞台に登場し、ディープステートの暴動を鎮圧するために全米の主要都市を警備してゆきます。

そして、デクラスと国家反逆者の大量逮捕が始まってゆきます。

イギリス、ドイツ、フランスなどの、ディープステートに支配されている国の政治家も、アメリカへの国家反逆罪でアースアライアンス軍によって逮捕されてゆきます。(日本ではどうなるのでしょうか。)

デクラスの期間は明確ではありませんが、10日間という説が有力な様です。

デクラスでは、アースアライアンス同盟軍の詳細も明らかにされてゆくことでしょう。

デクラスの直後から、アメリカでは、ホワイト米軍とアライアンス(同盟組織))が活動を表面化することは明確ですが、欧州諸国などのアースアライアンス同盟軍が、どのような組織でどのように活動してゆくのかはまったく分かりません。日本にもアースアライアンス同盟軍がいるそうです。

(各国の軍隊や日本の自衛隊だと私は思っています。)

デクラスでは、これまでの世界のマスメディアの報道とは真逆の「ウクライナ紛争の真実」も明らかにされてゆくことでしょう。

プーチン大統領は、5月9日の戦勝記念日の演説では、ウクライナでの生物兵器研究所の破壊や児童幽閉地下基地からの3万5千人以上の児童の救出については公表しませんでした。デクラスに先駆けて公表する可能性もあります。

デクラスによって、全世界の人々は、ロシアのウクライナ侵攻に関する西側諸国とアメリカの全ての報道が、巧妙に情報操作されていたことを、徐々に理解するようになってゆくことでしょう。

隠蔽されてきたウクライナのアゾフ連隊の残虐な行いも、徐々に明らかになってゆくでしょう。

ディープステートやアゾフ連隊からの暗殺の恐れが無くなってくると、多くの人々がウクライナ政権やアゾフ連隊の闇の真実を語りだすことでしょう。

ウクライナ紛争はロシアの勝利となってゆくでしょう。

世界の良識ある多くの人々は、ウクライナ紛争の真実を知っていくことによって、ディープステートが、如何に巧妙に人々を洗脳し、意のままに操ってきたのかを知ってゆくことでしょう。

民主主義や人道主義の重要性を唱えてきた、国連、NATO(北大西洋条約機構)、EU(欧州連合)も、ディープステートの支配下にあることも知ってゆくことでしょう。

デクラスでは、ディープステートの詳細と、ディープステートが永年に渡ってこの世界で行ってきた悪行の数々が暴露されてゆくことでしょう。

子供を生贄にする悪魔儀式や、若返り薬・アルデノクロムの製造や、児童性愛のために、世界中で年間に数百万人の子供たちが誘拐され、世界中に数多くあった児童幽閉地下基地の檻の中に幽閉され続けてきたことが暴露されるでしょう。

児童幽閉地下基地は、世界中に信じられないほど数多くありましたが、その多くが、トランプ大統領、ホワイミ軍、アースアライアンス同盟軍によって壊滅されてきました。

ウクライナだけでも、この2月から5月の間に、35000人以上の子供が救出されたのです。

ハリウッド、デズニーランドにも地下基地があるようです。

日本には、アルデノクロム製造の地下基地があったそうですが、すでに壊滅されているようです。どこにあったのでしょうか。

児童幽閉地下基地の存在と子供達の救出は、ホワイミ軍やアースアライアンス同盟軍が隠密に活動してきましたし、マスメディアはいっさい報道いたしません。

YouTubに投稿された、檻の中の子供や児童を誘拐している、画像や動画は削除されてゆきます。このホームページの動画も、今は全て削除されています。

このホームページの『新時代の幕明け その10 6月23日』では、悪魔崇拝者、アルデノクロム、児童性愛者の特集記事を掲載しています。以下に、その個所を再度掲載いたします。

## x no name x

New York在住13年us NY生活でのできごとや感じたことを私なりに書きます。

Twitter,YouTube,instagramもやっています♪

## Google ディープステートに汚染された世界

[x no name x](#) 2020/07/15

<https://note.com/xxxyukixxx/n/n4432f081db42>

そしてつい先日、トルコの放送局が**アドレノクロム**を取り上げ生放送しました。

いよいよ本格的にこのとんでもないスーパードラッグが世界に認知され始めています。

この放送では悪魔崇拝者達による**悪魔崇拝儀式**、ディープステートなども取り上げています。

さらにこの放送によると、**アドレノクロム**とは実際に売買されていて1937年に極秘で発見され60%若返ることができるホルモンです。

**幼児の松果体から出る多量のアドレナリンが酸化したもので、ストレス、苦痛、虐待を繰り返し、恐怖を与えた時に自分に抵抗力を与える為に分泌されるホルモンでアドレナリンに由来されます。目に針を突き刺し抽出されるものです。**

アンチエイジング効果があり若返りの超高級ドラッグとしてセレブなどに人気です。  
 使用者には英国のフィリップ王子など国王、法王(ローマ法王)、ジョージブッシュなどの  
 トップ政治家、銀行家、裁判官、他にも大勢使用しています。  
 ただ副作用もあり使用をやめると一気に歳を取ったり目の周りがクマのようなアザになります。  
 そして悪魔崇拝者達は儀式で子供を生贄にする為に  
 世界中で子供を誘拐したり、人身売買を続けています。

悪魔崇拝者にはイギリス王国、ロックフェラー家、ロスチャイルド家、ブッシュ家、クリントン家など  
 大企業の経営者や政治家など誰もが知る人達がいいます。

アドレノクロムには副作用もあり  
 使用をやめると一気に歳を取ったり、  
 目の周りがクマのようなアザになります。



オバマ前大統領 匂い嗅ぎ過ぎです。

こちらは小児性愛者で有名な米民主党のジョー バイデン



私が住んでいるNYでは13歳以下の児童は通学も保護者が付き添います。  
 子供が一人で歩いているのを見ませんし、留守番も子供一人にはしない為、保護者がいない場合  
 ベビーシッター、ナニーの方に頼みます。 学校への送り迎えだけを代行する人もいます。  
 その場合も事前に先生に関係などを話し顔なじみになる必要があります。  
 世界では30秒に1人、子供が売買されていて600万人の子供達が被害に遭っています。  
 米国では社会問題の一つに児童の行方不明事件がありますが  
 その人数は年間80万人、1日に約2,000人も行方不明になっています。



今一番、急成長犯罪産業が人身売買で、労働、性的、臓器売買、アドレノクロム抽出、悪魔崇拝儀式の為に**16兆円産業**と言われ、性的人身売買だけでも**6兆円産業**と言われています。ドラッグ、銃売買より全然お金になる違法売買なのです。その為、大規模な犯罪組織が存在しています。

**トランプ大統領**は以前から人身売買撲滅に取り組んでいて、去年10月ペンタゴンの小児性愛犯罪特殊部隊の報告によると、トランプ指示で米海兵隊によって2100人の子供たちがカリフォルニア州の**地下基地**から救出されています。そしてこのコロナの時期を利用し、たくさんの子供達をさらに救出しています。

エプスタイン事件のようにすでに逮捕者が出ている事件以外にも**悪魔崇拝者、小児性愛者、ディープステート、イルミナティー**などが全て人身売買に関与していて私達一般人には手に負えない相手であり、その為ずっと昔から行われてきた犯罪を取り締まる事ができず今でも解決されず残っているのだと思います。トランプ大統領は人身売買に強く取り組んでいるので、この件に関わる**ディープステート、著名人、有名人、王室、政治家**などは**11月の大統領選挙でトランプの再選を阻止しようと必死**なのです。

それと同時に、**ジョージソロス、CCP(中国共産党)**など外国勢力などは今、世界でトップのアメリカを潰す為に**長い年月**をかけ、**教育、政治、報道**を操ってきました。まず子供達の教育でカリキュラムにより洗脳し、政治では特に米民主党に巨額の資金提供をしています。最近では**Black Lives Matter運動、Antifa**にも資金提供しています。そして**彼らの支配下のメディアで一般市民を印象操作し操っています**。これらを陰謀論という人もいますが実際、逮捕者も出て、子供達も救出されていてトルコの地上波でも取り扱っている事で私は陰謀論ではないと思っています。子供にも人権はあるのに一部の大人のエゴに利用され、たくさんの子供達が今でも犠牲になっています。

トランプ大統領は私達、移民に厳しい時もありますが自国民のアメリカ人優先なのは当たり前だし世界で起きているこれらの複雑な問題を解決する為に通常米大統領年俸40万米ドル(約4500万円)を辞退し**1ドルで働いている**トランプ大統領の再選を私は祈っています。

**ディープステートが一番恐れている事は一般人の覚醒と行動**です。彼らはお金の為に戦争を起こし、人身売買をし、病人に飲まなくていい薬を飲ませ、エゴの為に一般人を苦しめてきました。世界のほとんどのお金を握らせてしまいました。**私達は彼らが資金提供したメディアに洗脳され、彼らが操っている世界で生きています**。昔から続くディープステートに汚染された世界を、私達の覚醒と行動で子供達の未来の為に終わらせる時が来たのかもしれませんが。そして1日でも1分でも1秒でも早く子供達が救出され自由になることを祈っています。

アルデノクロムや悪魔崇拝儀式を特集した、トルコの放送局の生放送の動画は、削除されています。以下は、上記の「**ディープステートに汚染された世界**」の記事の中で、私が省略した部分です。

俳優のアイザック・カッピーはハリウッドの小児性愛者をラジオや動画で非難していました。何度も**トム・ハンクス**は小児性愛者だと強調していた。

動画収録、数日後、アリゾナ州の橋から飛び降り自殺した。  
自殺に見せかけた他殺と言われています。  
彼は自分が死んだ時に情報が開示されるようにしていた。↓  
————→



⑤

以下は、『デクラスは何時始まるのか ③ 10月6日』からの抜粋です。



軍がトム・ハンクスを処刑

By Michael Baxter -2021年7月27日 ([Real Raw News](#)より翻訳)

[https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/07/blog-post\\_27.html](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/07/blog-post_27.html)

俳優のトム・ハンクスは、小児性愛と児童虐待の罪を認めた軍事法廷によって死刑に処され、この世を去った。

6月12日、ハンクスが二重国籍を持つギリシャでチャーターした飛行機が、ハンクスが海外の映画祭に出席する予定だったイタリア・ミラノのマルペンサ空港に着陸した後、米軍はハンクスを逮捕した。米軍関係者がRRNに語ったところによると、リアジェット75が空港のエプロンに到着したとき、第173空挺戦闘旅団と国際刑事警察機構 (INTERPOL) のメンバーがハンクスの到着を待っていたという。

彼らが飛行機に乗り込むと、ハンクスは長年の友人であるピーター・スコラリの隣の席に座っていた。スコラリは1980年にハンクスと一緒にテレビのシットコム「Bosom Buddies (女どうし)」に出演し、女子大生の寮に住む女装者を演じていた。後にハンクスは、この役が一番好きで、女性の服を着ると男らしくなると語っている。

軍はスコラリを釈放したが、ハンクスを拘束したまま、待機していたC-130に乗せた。C-130は、B2爆撃機の基地の近くに軍事委員会事務局が刑務所を建設しているディエゴ・ガルシアに到着するために、機内で2回も給油しなければならなかった。着陸後、ハンクスは独房に入れられ軍事裁判を待つことになった。

その10日後、ハンクスは法廷に立たされた。米海軍法務官軍団は、**ハンクスが30年間にわたって暗躍してきた児童売買組織と関係がある**ことを証明する証拠を提出した。

証拠として提出されたノートパソコンや携帯電話などの電子機器には、ハンクスが明らかに同意年齢に達していない男児と性行為をしている写真やビデオが多数保存されていた。

また、ハンクスが**アドレノクローム・パーティー**に参加している様子を撮影したビデオもある。

アドレノクローム・パーティーとは、リベラルなエリートやハリウッドの大物俳優が集まり、怯えたり拷問されたりした子供から抽出したアドレナリンを酸化させたものと合成アヘンを混ぜ合わせた邪悪な化学物質を自分の体内に注入するというものである。

ルシフェリアンの儀式に参加した人々は、この化合物が病気を防ぎ、寿命を延ばし、性的能力を高めると信じている。

あるビデオでは、ハンクスと歌姫**レディー・ガガ**がお互いに注射をしている様子が映し出されていたが、その背景には見知らぬ子供の悲鳴、つまり死の慟哭が響いていたのである。

関係者がRRNに語ったところによると、軍のケースは**50のビデオクリップと2,000枚の画像**に基づいて構築されたという。しかし、3人の士官委員会は、4つの断片を見ただけで有罪の評決を下すほど、内容が不穏当であると判断したのである。

ハンクスは、弁護のために何か言うことはないかと聞かれても、自分の罪に対する反省の色は全くなく、大人と子供の性交は「自然なこと」であり、米国のペドフィリアおよび小児性愛擁護団体であるNAMBLA(北米男児愛護協会)を誇りを持って支持していると法廷で述べた。法廷はハンクスに死刑を宣告し、その刑の迅速な執行を求めた。「私が死んでも何も止まらない。私たちはどこにでもいるのだから」とハンクスは言った。

その3日後、ハンクスはアドレノクロム以外の注射を受けた。担架に寄せられたハンクスは、パンクロニウム臭化物、塩化カリウム、ミダゾラムを静脈に注射された。血液中にアドレノクロムが残っていたとしても、それは致死注射から彼を守るほど強力なものではなかった。

## アース・アライアンス とは

石川真一郎

アース アライアンス に選ばれた、日本のメッセンジャーの一人



**【第117弾】昨日に引き続きワシントンメッセージ、凄いです!!**  
2021年**3月17日**のメッセージです。 石川新一郎チャンネル

この動画は、削除されています。

**1999年から、ギャラクシー アライアンス(銀河連合)と共に、本格的にネガティブETからの人類解放の戦いは始まりました。**

ギャラクシーアライアンスは地球上のあらゆる政府に交信を試みました。もちろん日本政府にも彼らからのコンタクトはありましたが政府自体が彼らの存在を理解できなかったし理解しようとしませんでした。

それは日本だけでなく世界中のあらゆる政府へのコンタクトを彼らは試みましたがアメリカのあるグループだけがコンタクトを成功させたのです。**彼らは数人の高い地位の軍人とある組織のメンバーでした。そしてギャラクシーアライアンスの説明を受け、全てを理解した彼らは地球上にアライアンスのメンバーを集め(アース アライアンス)、ギャラクシーアライアンスとの共同作業での地球解放が始まったのです。**

皆さまがご存じの通り、**ケネディジュニア**はこの時点で命の危険があったので、彼を隠したのもアライアンスです。(デクラス後の選挙で、ケネディジュニアは**副大統領**に就任するようです) 今後の地球にとって重要な人物を何人か、ネガティブETの手下であるDSから捕獲しました。

ネガティブETを説明します。ネガティブETは代表的な存在としてアルコン、キメラ、レプティリアンがいます。**彼らの餌は地上の人類のネガティブなエネルギーです。**彼らは我々の次元ではなく高次元から、我々の負のエネルギーを得ることにより活動します。



彼らはアトランティスの時代から地上の人類とコンタクトを取りそれを人類は受け入れました。それらのネガティブETにとってこの美しい惑星である地球はパラダイスでありました。また宇宙で地球以外はギャラクシーアライアンスの光側の勢力が圧倒していたため、この地球を放したくなかったのです。

そして2万数千年前にキメラが地球にスカラー電磁フェンスバリアを巡らせポジティブETとのコンタクトを人類は遮断されました。光の勢力は諦めずに常にコンタクトをあらゆる方法でとり続けました。我々地球で暮らす人類はいくつかの惑星よりやってきた存在です。そのため色々な人種に分かれています。地球上に初めから存在した人類はありません。アトランティス文明が崩壊して原始の時代から始めなければならなかったところからここまで文明を築くのには数千年かかっています。その間も光側はタイミングを計りながら諦めることはありませんでした。

今、ギャラクシーアライアンスの地球側との窓口のコンタクトは**プレアディス星人**が担っています。彼らは現在6次元の存在で、最近、アセンションに成功した惑星の方々が我々人類に外見が似ています。背は2m近くありますが、髪の毛は金髪で肌は白く北欧人にとても似ています。そのような存在の方々であるギャラクシーアライアンスは現在進めている**地球解放のディクラスやゲサラの実行指示を出すのも彼らです。**

### 【第118弾】3日連続のワシントンメッセージ、ブラボーです!!

この動画は、削除されています。

「石川様、昨日の内容をさらに進めましょう。アルコン、キメラ、レプティリアンの話をしましたが、彼らは今まで公表したような**ファミリー(ディープステート)**たちと共に人類を奴隷化していました。それは**現在までの金融システム自体がこれらのファミリーが摂取できるようにシステム化されたこと**は今までに説明した通りです。それらは先ほど述べたネガティブETと共に作り上げられ**人類は苦痛、不安、妬み、他に対する怒りなどを作り上げ、彼らのエネルギーとなっていました。**ギャラクシーアライアンスによって、アルコン、キメラはほぼ全滅状態となり、**残されたレプティリアンは人間と同化できる能力があり、いまだに存在しています。**

ディクラスについて今までのことを踏まえてお話ししましょう。**ディクラスは秘密開示という意味です。今までのDSが行ってきた悪魔の所業を地上の皆様にも知らしめることが目的です。**そしてそれは本来の自分自身の存在がどのようなものか今後どこに向かっていかなければならないのかを理解するプロローグとして存在します。これが開示されなければゲサラは行われません。ディクラスが行われることにより本来のそれぞれの存在を理解して初めてゲサラが法として機能します。なぜならゲサラは単なる富の再分配ではなく、高い精神世界に向かって時間を使えること、**生活を心配しなくてもよい立場になり、本来の自分に気が付いてほしい**という意味が込められた内容なのです。**1月後半には既に上層部からの指示ではディクラスを開示する日程の指示が何度も出ていましたが、なぜか見送りされている状況が続いています。**全ての準備が整っている中、我々も見送りされている理由はわかりません。早くディクラスが開示され新時代に入れることを祈ります。

### ネサラ・ゲサラ とは

ディクラスでは、ネサラ・ゲサラについての概要も説明されるようです。アメリカで実施されるものをネサラと言い、アメリカ以外の国で実施されるものをゲサラと言います。以下に、ネサラ・ゲサラに関しての要点をまとめてみました。

**【第93弾】ワシントンメッセージそして第1回目の封筒開封です!!**  
**2021年2月3日**

⑧

この動画は、削除されています。

「石川様、初めての封筒を開封してください。我々はこれから始まることに関してあなたを通じてなるべく多くの方に概略を耳に入れてほしいと思い今回重要なポイントのみ情報公開することにいたしました。ある程度公開しても安全な時期に来たと言うこと、今後の動きにディープステートが邪魔できないこと、これらが前提条件であり、それらが整ったということです。

まず初めの内容はディクラス、つまり機密情報開示が行われます。それは世界200の国以上に放送される予定で世界中のできるだけあらゆる人々に視聴していただきたいと思います。  
その内容はディクラスで発表されるのでそれをご視聴ください。

さらに、ほぼディクラスと同時に進行される予定ですがゲサラ法を次に発表します。  
今までの地上を根底から変えるシステムでそれは経済のみではなく立法、司法を含めあらゆる政府や公共機関が本来のそこに住む人々のためのものになります。

我々は量子コンピュータを使い誰もハッキングできない金融システムを取り入れました。  
そして紙幣は金本位制に立ち返ります。地球上にある金、銀、銅、プラチナなどの埋蔵量も試算した中で本来の地球試算を計算し、とても多くの資産が人類のものであること、それらを前提にして莫大な資産が解放されるでしょう。

そしてこのゲサラに則り、新たな地球の歴史が始まります。そして中央銀行の役割も近い未来に終わるでしょう。

今回はこのゲサラの20項目の基本条項を公開します。

今回の内容はアメリカのネサラ法ですが、これを基本として順守して各国がそれぞれのネサラをアメリカの次にそれぞれ発表します。日本もちろん今月、来月の早い時期に日本としてのネサラ法を発表するはずです。

日本はおそらくベーシック・インカムシステムから取り入れていくと思います。それにより120日以内に議会選挙を確立し決定しなければならないのが条件ですので問題のある議員を再選できないようにすることは選挙権の持っている皆様の仕事です。

ゲサラに関しては皆さまはどこかで勉強されたと思いますが正式にこれが発表されることをここでお伝えします。ゲサラは人類の持つ本来の根源的な自由を尊重する国でなければ発動できません。つまり社会主義国家である共産国、全体主義国家、独裁国家はこの枠組みには入れません。これから始まることは大いなる神の意志に基づいたものです。何度も何度もくじけずに諦めずに機会をうかがい、やっとここまでたどり着きました。  
危うくオバマ、ヒラリーのリレーで内戦や核戦争、NWO(新世界秩序)による人口削減が始まるところでしたが回避できました。

参考:新世界秩序 出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

新世界秩序(しんせかいちつじょ、New World Order、略称:NWO)とは、陰謀論として、将来的に現在の主権独立国家体制を取り替えるとされている。世界政府のパワーエリートをトップとする、地球レベルでの政治・経済・金融・社会政策の統一、究極的には末端の個人レベルでの思想や行動の統制・統御を目的とする管理社会の実現を指すものとしても使われる。



第一回目の封筒の開封です。

ゲサラ法の20項目：

<世界経済の安全保障と改革法>

- 1) 違法な銀行及び政府による活動に由来する全てのクレジットカード、抵当、銀行債務の取り消し。  
多くはこれをヨベル(?)、大赦、或いは安全な債務免除と呼んでいる。
- 2) 所得税の廃止。
- 3) 国税庁の廃止。 国税庁の被用者は米国財務省の国内売り上げ税部門に移動する。
- 4) 政府の歳入となる日常不可欠ではない新品のみに課される一律17%の売上税の創設。  
言葉を変えれば、食料品と薬には課税されない。また中古住宅のような中古品には課税されない。
- 5) お年寄りの社会保障給付の増額。
- 6) 法廷と司法の憲法への回帰。
- 7) 改変された称号、および貴族階級の元来の状態への復帰。
- 8) **ゲサラの公式発布後、120日以内の大統領及び議会選挙の創設。**  
暫定政府は非常事態を收拾し憲法に則った法制下に復帰する。
- 9) 選挙の監視と特定の圧力団体による非合法的選挙活動の防止。
- 10) **金、銀、プラチナといった貴金属に資産担保された米国虹色通貨の創設。**  
フランクリン・ルーズベルトによって1933年に開始された米国の破産状態の終結。
- 11) 米国運輸局による家畜資産債券としての米国出生証明記録の売買の禁止。
- 12) 憲法に則った米国財務銀行システムの開始。
- 13) 連邦準備銀行制度の廃止。 **連邦準備銀行発行の紙幣が金融システムから完全に排除される**  
までの1年間は移行期間に限って連邦準備銀行制度は米国財務省の補助的手段として運営される。
- 14) 金融上のプライバシーの回復。
- 15) 憲法の下での全ての裁判官と弁護士の保持。
- 16) 世界各地における米国軍隊の侵略的活動の中止。
- 17) 世界全体における平和の達成。
- 18) **人道目的のために集積された莫大な額にのぼる前代未聞の資産の放出。**
- 19) **安全保障上の理由という見せかけの理由によって公開を制限された6千以上にのぼる特許技術の利用可能な状態での公開。**  
**これらの技術にはフリーエネルギー機器、反重力技術、音波治療機器などが含まれる。**
- 20) 現在及び将来にわたる地球上でのあらゆる**核兵器の廃絶。**

(18)の、国民一人一人の配られるお金に関しては、一人に毎月20万円、3人家族だと毎月60万円が支給されるという説に信憑性を感じています。

(19)の、ディープステートによって隠蔽されていた**6千件以上の特許技術**の中には、『新時代の幕明け その7』でご紹介した『スライブ(繁栄する)』で解説されていた**数々のフリーエネルギー装置**も含まれています。

(フリーエネルギー装置とは、空間の磁場から、無料で無限に電気を生み出すことのできる装置です。

石油や電力を支配してきた資本家から弾圧・隠蔽されてきました)

ディープステートによって隠蔽されていた、多くの治療法の特許も公開されてゆきます。

医療の分野で莫大な利益をあげているディープステートは、音波治療機器や、副作用がほとんどない様々な自然療法などを、弾圧、隠蔽してきたのです。

銀河連合からの魔法のような治療設備、**メゾベッド**も、公開されてゆくようです。

(メゾベッドについては、『デクラスとネサラ・ゲサラ ② 8月7日』で詳しく紹介しています。)

ネサラ(国家経済安全保障及び改革法) ゲサラ(世界経済安全保障及び改革法) では  
QFS(量子金融システム) が中心的な役割をします。  
下記に、QFSについて解説した記事をご紹介します。

**【MiyokoAngel】金融リセット！量子金融システム(QFS)解説**

2022-02-12 07:11:07

テーマ: 地球革命 豊土(ほうと)

<https://ameblo.jp/10anpea-revolution/entry-12651340076.html>

重要です。 追記。

重要なので、Miyoko(佐野美代子)さんの動画は  
ことごとく消されています。

どんだけ重要か察してください 逆にわかっちゃうよね

..本文ここから...動画から要約..

■ トランプ大統領ら同盟alliance側が勝利したので共産主義者/DS側のアジェンダは既に消滅しました  
(大衆にチップを埋め込んで管理するというやつ)

■ QFSは、量子コンピューターを使うシステム  
量子コンピューターは宇宙のサテライト(衛星)上に在る  
これは**地球外生命体のテクノロジー**です。  
宇宙の**24のサテライト**が世界のシステムを24hrs絶えず管理する  
そして、このサテライトを、**アメリカ宇宙軍**が管理する

■ 送金は直接(間に仲介者bankが入らない)なので手数料が不要になる  
しかも瞬時で、世界中に送金できるようになる

■ QFSは、統一通貨ではない。“各国の”デジタル通貨です。  
(DSが進めていた「DS的世界統一通貨の計画」は、同盟alliance側の勝利(DSの敗北)で既に消滅しています)

■ 今の所持金・貯金はそのまま移行します。心配無用。  
1:1のレート(つまり減ったり増えたり一切無し) 世界中で一斉にスタートします

■ 闇のmoneyは新通貨に移行できない  
**共産主義者CCP・DSカバールらの人身売買・麻薬等につくったmoneyは、NESARA/GESARA始動の瞬間に  
一掃される** これが、同盟側の革命のキモであります。  
(極悪犯罪を地球から掃討するという使命故です 感謝!!!)

..要約ここまで..

みよこさんいつもありがとうございます。

動画を再生できません  
この動画に関連付けられていた YouTube アカウントが停止されたため、この動画は再生できません。

銀河連合支援の 24基の衛星を使用した量子コンピューターシステムはすでに稼働しており、  
世界の金融システムを大変革するための布石は着々と進んでいます。  
200ヶ国以上の国で実施されます。

エリザベス女王 とバチカンによる モホーク族 子供達 大量虐殺 がカナダで明らかに  
独立系メディア E-wave Tokyo 掲載月日:2013年2月28日

<http://eritokyo.jp/independent/aoyama-col99982.html>

以下はモホーク族の子供達の大量虐殺に関する市民法定審理の関連論考(2011年10月8日)です。

◆エリザベス女王とバチカンによるモホーク族の子供達の大量虐殺がカナダで明らかに

-By Alfred Lambremont Webre, JD, MEd (2011年10月8日)

カナダのブラントフォードにて

モホーク族の為に1970年に閉鎖されるまで英国国教会(プロテスタント)とバチカン(カソリック)によって運営されていたモホーク研究所の寄宿学校内で、モホーク族の子供達の集団墓地が地中探知レーダーによって発見された。

教会と国家の犯罪国際法廷([www.itccs.org](http://www.itccs.org))の秘書であるケビンアネット-牧師によると、モホーク族の研究所は1832年、イギリスの英国国教会によってモホーク族の子どもたちを投獄し、命を奪う為に設立された。

カナダで最も早く設立されたこのインディアン(先住民)の寄宿学校は、1970年まで続いた。そして全寮制学校に入れられた子供達の半数以上は決して戻る事はなかった。子供達の多くは学校の周辺に埋められている。

地中レーダーによるスキャンによりモホーク研究所本館を閉じるようになったが、1970年にモホーク研究所が閉鎖される直前、モホーク族の子供達の集団墓地の存在をカムフラージュし、またジュネーブ条約、国際刑事裁判所および協力国の裁判所などに大量虐殺と人道に対する罪で追訴される事を回避する為に15から20フィートの土が運び込まれ、集団墓地の上にかぶされた」とモホーク族研究所は明らかにしている。

今年(2010年)の10月下旬、ベルギーのブリュッセルとアイルランドのダブリンにて「教会と国家の犯罪に関する国際法廷」(ITCCS.org)は、司法手続を開始する予定である。法医学的な証拠によると、この司法手続は、人道に対する子供達への大量虐殺の罪を審理するためとされている。

故意に子供の大量虐殺計画と隠蔽工作に参加したとされるカナダと英国国教会のトップであるエリザベスウィンザー(現エリザベス女王)と教皇ヨセフラッツィンガー(前ローマ法王 ベネディクト16世)らに対してこの司法手続は進められている。

裁判の公判は、もともとイギリスのロンドンで開催されるとされていたが、英国政府は理由もなしに犯罪に関する国際法廷の国務長官と主要な法律家とスタッフへの入国を拒否した。

モホーク研究所内での地中探知レーダーによって発見されたモホーク族の子供達の大量埋葬地は、目撃者であるウィリアム・クームズのビデオテープ証拠にもとづくものである。

それは1964年10月、カナダと英国国教会のトップであるエリザベス・ウィンザーがブリティッシュコロンビア州にあるカムループスの先住民学校を訪れ、10人の若い先住民の子供達を選び彼女の足にキスをさせている。伝えられるところによると湖のピクニックと称して彼らを学校から連れて行ったというものだ。

その10人の先住民の子供達は、決して姿を見せることはなかった。エリザベス・ウィンザーに対する「子供達の虐殺を教会と国家の犯罪国際法廷」(ITCCS.org)に証拠を提供したクームズ氏は2011年2月、殺害されている。幸いな事に、クームズ氏の証言は生前にビデオに録画され、裁判で有効なものになっている。



儀式でモホーク族の子供達を拷問するため使う体を引き裂く形式の拷問台のような器具も現在閉鎖されているモホーク研究所内で発見されているとケビンアネット牧師は述べている。

⑫

モホーク族の地域社会における目撃者達は、子供達に対する拷問儀式において赤いローブの司祭達を見たことがあるとはっきり述べている。

これらの問題の共通類似点は、英国と英国国教会のトップであるエリザベスウィンザーが関与していることにある。彼女はこの組織的な大量殺害計画と儀式的拷問や英国国教会とバチカンにより運営された英国国教会の寄宿学校での殺人を個人的にも知っており、命令し、参加していたと推察される。

インタビューでアネット牧師は、**カナダの主なメディアやカナダ政府は隠蔽工作を行い、モホーク子供達への大虐殺発見についても報道管制を続けている**と述べている。

**カナダ・モホーク族の子供達大量虐殺で市民法定はローマ法王らに有罪**  
独立系メディア E-wave Tokyo 掲載月日:2013年2月28日

<http://eritokyo.jp/independent/aoyama-col99981.html>

以下のニュース(概略)が飛び込んできました。添付した市民法定の判決文と2枚目の被告リストを見ると、どうも**カナダ政府、英国国王、ローマ法王**らが被告となっています。

私(青山貞一)は過去数年の間にイタリア(ヴァチカン)、英国(スコットランド)、カナダ(トロント)、オーストラリアなどに行っていますが、現地で知らされることはありませんでした。関連各国政府、バチカンが報道管制、情報統制をしていたようです。

過日、**ローマ法王ベネディクト16世が突然法王を辞任**しましたが、その理由は、どうもカナダにおけるアボリジニの子供達の大虐殺に関連した The International Common Law Court of Justice法廷での裁判において、2月25日、ローマ法王**ベネディクト16世**(本名:ヨゼフ・アロイス・ラッツィンガー)と、英国王室**エリザベス女王**、そしてカナダの**スティーブン・ハーパー首相**らに対し下された判決に関連しているようです。  
**市民法定における判決は懲役25年(仮釈放なし)の有罪**とのことです。ただし、**法的拘束力はありません**。

この**市民法定**における被告らの罪状は、カナダ国内において5万人以上の子どもが大虐殺されたと言うもので、彼らが信じる密教=表向きはカトリックでの祭事目的での生贄としてカナダに住む黄色人種のインディアン末裔の子供をたちを最近まで殺してきた歴史がみつかったというおぞましい内容です。

辞任を申し出たローマ法王の一件は、どうもこれが主たる理由のようです。ヴァチカン関連ニュースでも報じられています。また市民法定はエリザベス女王の一家に対しても財産没収が課したと伝えられています。またアメリカではマスコミ規制をおして事実を追求しようという動きになっているようで、少しずつ情報が漏れてきています。

**続報:モホーク族大量虐殺裁判**  
独立系メディア E-wave Tokyo 掲載月日:2013年3月1日

<http://eritokyo.jp/independent/aoyama-col99985.html>

続報です。さらに調べたところ、判決を下したという"the International Common Law Court of Justice"は「国際慣習法裁判所」と訳されており、いわゆる市民法廷であって、判決結果に強制力はないことが分かりました。

しかし、カナダ人の論考にある内容は市民法廷における審理のもととなっており、ローマ法王の退位と関係しているようです。

そもそも、ヴァチカンのカソリックと英国国教会のプロテスタントが同列に裁断されていること自体、不思議に思いましたが、ことは、それ以前にさかのぼるのかも知れません。

以下は市民法廷についての概要です。

#### ◆ITCCSとは

(International Tribunal into Crimes of Church and State)

教会と国家の犯罪に関する国際法廷、国際裁判所)は、国際と自然の法則の下に立って市民ベースの"良心の法廷"であり、ダブリン、アイルランドの教会拷問の生存者が2010年春に設立した「超国家的司法裁判所」。

現在、**15カ国の組織**(創立スポンサーや関連会社)をもち、これまで不可侵で法的に訴える術のなかった「教会」や「国家(state)」の犯罪をコモンロー(慣習法)を根拠に裁く機関であるようです。

その法律顧問には、クアラルンプール人権裁判所、アンドリュー・パターソン、コモンローコンサルタント、アメリカとカナダの弁護士会のメンバー、およびニューヨーク市における憲法上の権利のための著名なセンターと弁護士のメンバーが含まれる。

2012年秋に、ITCCSは、ヨーロッパやアメリカの弁護士や政治家と一緒に、非人道的犯罪と子どもに責任を負うそれらの教官を審理するため、「正義に基づく国際慣習法裁判所」(ICLCJ: International Common Law Court of Justice)を設立した。

ICLCJは、宣誓した市民陪審員、法律上訓練された予審判事の陪審団および市民検察当局で構成されており、教会と政府によるカナダのジェノサイドの問題で、その協議事項表中のその最初の事件審理を終えた。



エリザベス2世

バッキンガム宮殿にて2011年に撮影。女王の佩用する勲章は、左から**ニュージーランド・メリット勲章**、**女王功績勲章**、**ニュージーランド勲章**である。**2012年**に、在位60周年記念で公開され、公式写真の一枚となった



前ローマ法王 ベネディクト16世

ローマ法王が退位を表明ー生前退位は数百年ぶり  
**2013年2月12日 08:03 JST**

バチカン、イエズス会、ローマ法王、王族による生贄儀式と児童虐殺が法廷で明らかに

[旧・ほんとうがいちばん](#) 2014年04月21日 12:44

転載元: [日本や世界や宇宙の動向](#)さんより

[https://mizu888.at.webry.info/201404/article\\_83.html](https://mizu888.at.webry.info/201404/article_83.html)

バチカン、イエズス会、ローマ法王、王族による生贄儀式と児童虐殺が法廷で明らかに！

世界的な権力を振りかざす者たち(イエズス会、バチカンカトリック教会、ヨーロッパ王族)による児童拉致、売買、虐殺、強姦が法廷に立った証言者によって明らかになっています。

これらの犯罪者に対する裁判が始まりました。(略)

<http://the-tap.blogspot.jp/2014/04/church-leaders-chop-up-baby-on-altar.html>

(概要)

4月17日(2014年)付け:

世界的に行われてきた児童売買と儀式的殺害の罪で告発された複数の教会指導者らの裁判が開始しました。法廷では**8人の証人(被害者)**らが彼らの犯罪を証言しています。被害者の証言により教会指導者らや王族らが実際にどのような犯罪を行ってきたのかが分かってきました。

どのような犯罪かという。。。

**英王室、オランダ王室、ベルギー王室**は、英国教会が所有するカナダのインディアン居住学校で発生したモホーク族の子供たちの拉致事件と殺害事件に関与していた。

イエズス会の資料には、ローマ法王には新生児の儀式的殺人を行う特権が与えられていると記されている。さらにベネディクト(前)法王は第2次世界大戦中に生贄儀式を行う闇の騎士団に所属していたことが分かった。証拠資料によると、ローマ・カトリック教会と英国教会は、**世界中に児童売買ネットワークを張り巡らせ**、世界中の児童を拉致し、生贄儀式では、児童を強姦したり、拷問を加えたり、殺害していた事が分かった。

**2人の若い女性被害者**らは、2009年と2010年に、第9サークル(児童生贄ネットワーク)による恐怖のカルト生贄儀式の中でホルヘ・マリオ・ベルゴリオ(**後のフランシスコ法王**)に実際に拷問を加えられ強姦されたと法廷で証言した。



**生贄儀式の目撃者(被害者)**の証言によると、儀式に参加した者(教会の指導者)たちは、**儀式中に新生児を石の祭壇に載せ、身体を細かく切断した後、新生児の血を飲み、肉や骨を食べた**ことが分かった。

被害者の証言では、**1960年代**に行われた生贄儀式には、ベネディクト(前)法王、枢機卿のダッチ・カーディナル・アルフリンク(Dutch Cardinal Alfrink)、そしてベルンハルト・ファン・リップペ(**オランダのユリアナ女王の王配**)などが参加したことが分かった。

最近では、2009年と2010年に、**オランダとベルギー**で行われた生贄儀式中に新生児が殺害された。

このような生贄儀式には、カトリック教会や英国教会だけでなく、英国王室、ベルギー王室、オランダ王室が関与していたことが分かった。彼らはカナダのブラントフォード居住学校からインディアンの子供たちを拉致し、儀式中に殺害していた。

1942年と1945年には、カナダに住んでいたオランダのウィルヘルムナ女王と彼女の家族(オランダ王族)がインディアンの学校で行われていた第9サークルの生贄儀式に参加していた事が分かった。当時、カナダ政府はカナダに住むオランダ王族に治外法権を与えていた。



ウィルヘルナ女王、ベルンハルト・ファン・リップペ王配、ヘンドリック王を含むオランダ王室とベルギー王室は、カナダのインディアン居住学校の児童やインディアンの新生児の強姦、殺害に関与していた。

イエズス会の命令に従い、新しい法王が就任される度に、新しい法王が参加する第9サークルの生贄儀式が開催され、そこで新生児が生贄にされていた。

イルミナティ・カルトと呼ばれる第9サークルは18世紀初頭にイエズス会によって創設されたが、既に16世紀から、ローマのカトリック寺院などでも同様の生贄儀式が行われてきた。

証拠資料によると、これらの生贄儀式はイエズス会により何世紀にもわたり行われてきたことが分かった。儀式用に新生児が拉致され、殺害されてきた。

儀式の参加者らは、霊的パワーを得るためとバチカンの教皇職の安定的な政治的地位を維持するために、殺害した新生児の血を飲み、骨を食べていた。

18世紀以来、ローマ・カトリック教会、イエズス会、そして全ローマ法王がこのような生贄儀式を開催してきた。これらの生贄儀式は単なる大量虐殺ではなく、きちんと制度化された組織的犯罪である。従ってローマ・カトリック教会、イエズス会、法王が告訴されることとなった。

同様に児童の生贄儀式を行っている闇の騎士団は、イエズス会の支援を得て、1933年にナチスのワッフェンSS部が創設したものである。

ドイツの強制収容所で闇の騎士団のメンバーらによる生贄儀式が行われていた。

生贄に使った児童らは強制収容所に投獄された政治犯罪者らから拉致してきた児童らであった。

イエズス会が主催するこのような生贄儀式はスペイン、アルゼンチン、その他のファシスト国家でも行われてきた。(転載終了)

生贄儀式(悪魔崇拝儀式)は、多くのディープステートによっても、永年に渡って極秘に行われてきましたが、ホワイトハット(ホワイト米軍とアースアライアンス軍)が、極秘にせん滅してきたようです。英王室やバチカンでも、今はせん滅しています。悪魔崇拝儀式の常習者であった、ヒラリークリントンも処刑されています。

ウクライナの生物兵器研究所 西側諸国は報道しない

5月11日に、ロシア放射線・化学・生物保護部隊のトップであるイゴール・キリロフ中将は、ウクライナの生物兵器研究所の詳細を報道。 国連、EU、西側諸国、アメリカ、世界の主要メディアは完全無視

アメリカ民主党はソロス、ゲイツや製薬会社と組んでウクライナでの生物学的研究に資金調達していた。  
2022-05-17 Tanto Tempo

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/05/17/093456>

主導者は「民主党のリーダー」だ。

ロシア・トウデイが報じたように、ロシア放射線・化学・生物保護部隊のトップであるイゴール・キリロフ中将は、「ウクライナでの米軍生物研究のイデオロギーは民主党のリーダーであるという必要がある」と述べている。RTによると、米国政府は連邦予算から直接軍事バイオ研究に資金を提供する方法を設定したが、政府保証を利用して「民主党の指導者が支配する非政府組織」からも資金を調達したと、キリロフ氏は述べた。

### おなじみの悪のオールスターの名前が並ぶ。

これらの組織には、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、クリントン財団、ジョージ・ソロスのオープン・ソサエティと投資ファンド、ロックフェラー財団、エコヘルス同盟、ハンター・バイデンのローズmont・セネカ・パートナーズが含まれる とキリロフは主張している。

ロシアトゥデイによると、ロシア国防省のスポークスマンは、このスキームに関与しているものとして、ファイザー、モデナ、メルク、ギリアドを挙げ、「国際安全基準を回避しながら薬のテストにそれを利用している」とも述べている。 その見返りとして、ビッグファーマは民主党に献金している、とキリロフ氏は主張する。

### なんとドイツやポーランド、NATO諸国もウクライナで生物兵器研究を行っていた。

ドイツとポーランドもウクライナで生物学的研究を行っている、とキリロフ氏は断言した。「米国だけでなく、NATOの同盟国の多くも、ウクライナの領土で軍事的な生物学的プロジェクトを実施している。

ドイツの指導者は、2013年にワシントンから独立した国家バイオセーフティプログラムを立ち上げた。

ウクライナを含む約12カ国がこのプログラムに参加している」

### ロバート・コッホ研究所やドイツを代表する科学機関、ポーランド獣医学研究所も関わっている。

ロシアトゥデイによると、この取り組みには、ロバート・コッホ研究所やドイツ軍微生物学研究所など、ドイツを代表する科学機関が関わっていると、キリロフ氏は述べた。ポーランドは、ウクライナ西部の都市リヴォフにある国立医科大学に資金援助している。RTは、ポーランド獣医学研究所が「ウクライナにおける疫学的脅威と狂犬病ウイルスの拡散に関する研究」に関与していると主張し、キリロフ氏の言葉を引用した。

これらの研究は、ペンタゴンの主要な請負業者の一つであるアメリカのパテル研究所と共同で行われた。既報の通り、ロシア国防省は、4月にウクライナで米国の生物研究に関与した数人のアメリカ人を特定し、キエフが米国の無人機で生物兵器を運搬する方法を研究していると主張した。

ハンター・バイデンのラップトップから見つかった文書は、大統領の息子がウクライナの生物学的研究への資金提供にも関与していたことを示しているように見える。

米国は2005年から2022年初頭の間、ウクライナの生物学的プログラムに2億2400万ドル以上を費やしたと、ロシアの調査委員会の責任者アレクサンダー・バストリキン氏はRTに語った。

### 1976年の大量破壊兵器使用禁止の国際条約を破ったのは、アメリカとEU、そしてウクライナだ。

ただではすまない。

ディープステートが主要国政府やメディアを支配している現状では、西側諸国とアメリカが、ウクライナで極秘に、これほど多くの生物兵器研究を行っていたことをロシアが発表しても、全世界の人々には知らされないのです。

そして、ロシアを悪者にする偏向報道は、じゃんじゃん流しているのです。

5月末までには、プーチン大統領とトランプ大統領が、何らかの具体的な活動を表面化させるでしょう。

その後にデクラスが開始され、これまでディープステートが巧妙に隠蔽してきた闇の数々を全世界の人々が知ってゆくことでしょう。

ホワイト米軍とアースアライアンス軍の活動による世界の大混乱は、2～3ヵ月続くのではないのでしょうか。ディープステートの業種の淘汰や変化や、6千件の特許の公開による、様々な業種の事業形態の変遷は、2～3年続くのではないのでしょうか。

日本でのベーシックインカム(現金の支給)が、1年以内に実行されてゆくことを期待しています。